

クリニカルカフェ： 対話の中で考える生老病死

生きることや死ぬことの意味、健康や病気、老いること、こうしたことは誰にでも起こることです。自分自身にも起こるからこそ、そのことについて自分自身で考えてみませんか？



哲学カフェという手法を用いて、生老病死という人間誰にでも起こることを、自分自身の経験から考えたり、参加者同士の対話を通して考える場所です。哲学カフェといっても哲学の知識を持っている必要はありませんし、専門的な知識もとくに何も必要ありません。必要なことは、とうぜんと思っていることをもういちど考え直してみるだけです。お茶を片手に気軽に、せかずに生活の中にたくさんあるさまざまな出来事について語り合ってみませんか。

飲み物などはこちらで準備いたします。

日時：平成30年7月14日（土）14：00～16：00

テーマ：便利になって失われたもの

場所：兵庫医療大学 地域連携実践ステーション

募集人数：15名 ※先着順

話題提供/ファシリテーター：兵庫医療大学 共通教育センター

紀平 知樹 教授 常見 幸 准教授

お申し込み お電話・FAX・メールで下記までお申し込みください。

〒650-8530神戸市中央区港島1-3-6 兵庫医療大学(地域連携担当)

TEL 078-304-3013 FAX 078-304-2713 メール chi-ki@ml.huhs.ac.jp

* 兵庫医療大学へのアクセス

ポータルライナー「三宮駅」より「みなとじま駅」下車西へ徒歩約10分

* 原則的に、参加者はその都度募集いたします。



クリニカルカフェ：対話の中で考える生老病死

* 哲学カフェとは、哲学者のマルク・ソーテによって1992年にフランスのパリのカフェから始まった活動です。そのとき集まった人たちの興味、関心に応じてテーマが選択されることもあります。必ずしも決まった方法があるわけでもなく、ただ参加者の話をよく聞き、理解し、考えて、話すことが求められます。

7月14日（土） 便利になって失われたもの

（FAX送信先 078-304-2713）

=====FAXでお申し込みの方は下記をご利用ください=====

参加申込用紙

ふりがな		性別
お名前		男性 ・ 女性
ご連絡先		
ご住所		

